

# Gikai

第130号

2026年4月24日

発行

# Kamifurano

P.2~3 議会懇談会報告

**防災対策と高齢者支援に  
対して町の声は？**

P.6~9 R8年予算特別委員会

**注目事業に議員が  
徹底質問！**

P.11 特集議員報酬！

**議員報酬はなぜ上がる？**

P.4~5 町の執行方針

**R8年の町の方針を  
議会が問う！**

P.10 定例会・臨時会

**どうなる乗合タクシー！？**

P.12~21 町一般質問

**花火大会開催するのか？**



今号の表紙写真

ベンチャーキッズ上富良野 納税式

**つどえ未来の起業家たち！**

**町長へ子供たちからのお願い**



より開かれた議会となるよう、テーマを決めて話し合う「議会懇談会」。

町民の意見ひとつひとつから上富良野町の課題を浮き彫りにし、議会として政策立案、行政に提言できるような皆さんの生の声を聞かせていただく大切な場です。

今回は「防災対策について」と「これからの高齢者支援について」をテーマに、午前と夕方の2回に分けて場所を移して話し合いを行いました。

## テーマ① 防災対策について

○ 独居の高齢者や高齢者世帯の方々の方々の災害時の対応をどうしていくのか、安否確認が行える体制の確立が必要だと思ふ。

○ 過去の十勝岳噴火は市街地に壊滅的な被害をもたらした。離れたところに避難場所を考えておくことが必要。その点で東中は避難地として有効で支援していくことが可能である。避難場所として受け入れを出来るような会館の整備を考へほしい。

○ 防災訓練などで防災について考える機会を持つことが大切だと思ふ。

○ 防災は十勝岳と決めつけずに、地震等の災害に対する物流、燃料、食料品など、町としてどうすれば良いのか、色々と調査すべきだと思ふ。備蓄品の確保を積極的に行い、防災対策を幅広くして、我々町民に様々な防災情報を知らせして欲しい。

○ 地域で防災訓練を毎年1回訓練している。参加する人がほとんど変わらず、若い人の参加が少なく参加を増やすために悩んでおり、地震の体験、段ボールベットなどが体験できるような工夫を考へている。例年開かれていた町の十勝岳防災訓練に、全町民が参加できるようにして、現場の体験できるスペースを作ってもらいたい。

○ 十勝岳防災訓練に参加した際に、サイレンが鳴ってから避難所に行くと言われた。皆さん早くから集まっており、来る人も役員ばかりで参加者が少ない。お年寄りと一緒に歩いてくる一般の人もない。このような訓練に意味があるのかと感じる。

## ～参加者の声～



しのはら たけし  
篠原 武さん

議会懇談会に参加し、色々な意見をお聞きしました。その中で私も述べましたが、町が関わる温浴施設や十勝岳線の町営バスの料金が町民も町民外も一律ということ。他の自治体は料金の差があるのは当たり前で、少しでも他からの収入を増やすことを切に望みます。



まつざき さだゆき  
松崎 定行さん

上富良野に住んで7年になります。住宅の前が町道ですが、冬場は通行止めになります。国道からの乗り入れは大変勾配がきつくて難しいみたいなのですが、せめて住宅の近くまでの除雪をお願いしたいです。

また、国道の歩道に関しても旅行者なども時々利用しますので、バス停からJR付近までスムーズに歩けるようお願いします。

## テーマ② 高齢者支援について

○乗り合いタクシーが、日曜日に利用できないため、老連などの行事に参加できない。柔軟な運営を望んでいる。

○中富良野は町主催で敬老会を行っている。上富良野町でも敬老会を町主催で開催してほしい。

○少子高齢化対策の一つとして、町に働き口があることが重要ではないか。こうしたことの解決策を見つけないと町が衰退していく。子どもの無償化などの方策を取っているが変わらない。高齢者は多い、介護施設を増やすにも働く人がいない。そのようなことを町はどのように考えているか。

○高齢者といったら気になるのは認知症。認知症にやさしい地域社会を構築するように、地域福祉計画には書いてあるが、言っていることややっていることが違うと感じる。議員の皆さんからも町に提言して頂きたい。

○ファミリーサポートのように、高齢者も送迎サポートを考えてみて欲しい。

○高齢者の免許返納後のことが問題。山間部では、車がなければゴミを捨てるにも行けない。

## ～参加者の声～



おだ きみお  
小田 喜美男さん

孤独死について、なぜか便利すぎる社会（パソコン・スマホ）の疲弊かもしれません。

画面や言葉だけの付き合いで、自分だけが良ければ周りに無関心。無関心の先に人付き合いが苦手になります。人付き合いが苦手の先は、孤独になります。もちろん、この事ばかりではないが、家族構成にも理由があるのだらうと思います。

ですから周りを気に掛けましょう。普段から周りが気になる存在でいましょう。

上富良野町は、十勝岳の噴火の脅威があるが、自然豊かな環境下で栽培される多数の農作物を含めた特産品がある。避難所と特産品の販売を併せ持つ施設「道の駅」の設置に期待している。防災の観点と近年のインバウンド増加の観点から普段は「道の駅」として、災害時には「避難所」として、今後の上富良野町のためにも協議し前に進めていただきたい。



にしき たかひろ  
西木 貴洋さん

### あなたの声を直接議会に届けませんか？

町内の方で5人以上のグループであれば、どなたでも議会懇談会の開催を申し込むことができます。議会に直接生の声を伝えることで、あなたの課題が町の課題として扱われるきっかけにもなります。

#### 申し込み方法

申込書を議会事務局までご提出ください。  
詳細はこちらから [👉](#)



上富良野町議会事務局

☎ 45 - 6992 FAX 45 - 5362

執行方針概要

高規格道路整備で計画されるルートやインターチェンジの動向をふまえ、道の駅整備に向け調査・研究を行う。

Q. ルート決定の際に道の駅の設計、工事にかかるのか、どう考えているのか、大体的な目的を教えてください。



北条議員

A. 町長 地域振興策や、自然災害への対応、老朽化したインフラの長寿命化や公共施設の改築など、多様な財政需要が見込まれている。

執行方針概要

作業負荷軽減と搾乳経営の効率化のため、串内牧場内に整備した草地、哺育・育成センターの効果的な利活用を進めていく。



小林議員

Q. 串内牧場で確認された小型ピロプラズマ症の対応で、規模縮小して運営する説明があり、支援が限定的になることを意味すると考えるが、どのように他の市町村長と議論しているのか。

A. 町長 串内の育成に関して、小型ピロプラズマ症が発生しており、縮小になる。ただ、縮小というのは圏外からの受け入れを断るだけで圏内、上富良野の畜産の方には影響がないと考える。町内畜産業の方には影響が無く、話し合っている。

広域連合

道の駅

執行方針を問う!!

イベント

執行方針概要

国や道との連携のもと、商工会を中心とした振興施策を推進すると共に、既存事業者の経営の持続化や強化、新たな担い手による創業や新事業の展開を支援していく。

Q. 新年度予算においても持続化補助金をつけていただいているが、それには原資がいる。本場に弱っている中小企業については直接的な支援は考えてないか。



金子議員

A. 町長 原資そのものを行政が用意するのは、なかなか難しい面もある。過去にもあった利子補給も含め、そのような希望のある業者に対しては対応していきたい。

執行方針概要

上富良野の豊かな四季の恵みを活かせるよう、四季彩イベントについて、関係機関と協議の上、町外からの誘客促進、町民への還元につながる取り組みを進めていく。



林議員

Q. ステージイベントをやめライトアップのみにする代わりに、仮装盆踊りの時に町民イベントを想定しているみたいだが、町民に伝える気はあるのか。

A. 町長 ラベンダーフェスタの歴史はあるが、昨今の書きをどうするかは重要な問題と考えている。実行委員会を組織してやっているが、詳細についてはしっかりと検討し、開催していく。

執行方針概要

地域振興策や、自然災害への対応、老朽化したインフラの長寿命化や公共施設の改築など、多大な財政需要が見込まれている。

Q. 公共施設全般において、老朽施設更新の優先順位や、財源確保策についてどのような検討がなされているか。



佐藤議員

A. 町長 一遍に更新という訳には財政状況上許さないところだが、クリーンセンター、ラベンダーハイツ、給食センター等がどのような姿であるべきか検討段階に入っている。

執行方針概要

予約型乗合タクシー事業について、高齢者や障がい者などの交通手段の安定的な確保のため、引き続き安心して利用できるよう安心・安全な運行に努めていく。



米澤議員

Q. 乗合タクシーは多くの方が利用する状況だが、1業者が撤退することによって、弊害があつてはならないと思う。対応について伺う。

A. 町長 民間の会社がどうなるうとも、地域の農村部特に交通弱者の足は守っていかねばならないと考えている。

乗合タクシー

公共施設

町政・教育行政の

町立病院

執行方針概要

上富良野学校給食センターは建設から46年が経過し施設の老朽化及び衛生管理等の課題があり、引き続き「学校給食のあり方検討委員会」において、将来のあり方の検討・協議を進めていく。

Q. あり方検討委員会、現場の職員から会の進め方に関して、不安があるという声が聞こえてくる。この先の進め方に関して、不安の声を払拭してほしい。



茶谷議員

A. 教育長 新たな組織を設置して進めて行くために、委員はもちろん事務局も周知な準備が必要だったと反省している。もっと丁寧に、着実にあり方検討委員会を進めていきたいと考えている。

執行方針概要

病院経営について、病院経営強化プラン及び本年度策定する経営改善実行計画に基づき、経営の健全化に努めていく。



荒生議員

Q. 新病院がスタートし、1年を迎える。経営状態において改善はおろか、慢性的な医師不足の解消もできていない。赤字解消に向けた取り組みをどのように図り、経営改善をしていくのか。

A. 町長 公立病院を取り巻く環境は変わっている。新たに策定する「経営改善実行計画」に取り組み、医師確保、医療スタッフも含め、医療福祉を守り、赤字を少しでも減らしていきたい。

令和8年度

## 注目の新事業



### 給食費無償化

6000万円

国による子育て支援策により小学校の給食費が無償化されることに合わせ、町独自で中学校及び上富良野高校、認定こども園等の給食費も無償化する。(アレルギー等でお弁当持参の対象児童には給食費相当分の金額を補助する)



### 新規町民イベント

300万円

従来「ラベンダーフェスタ」で行っていたイベント(ステージイベントや出店)を猛暑や混雑、運営負担を考慮し別日に行う。合わせてこれまで、見送っていた花火大会も行う。(既存イベントとの併催を検討中)

### 地域活性化担い手創成事業

1050万円

課題である町の地域・観光・特産品振興やふるさと納税の拡充など魅力的な地域づくりを行う担い手不足の解消のため、「地域再生マネージャー制度」による外部専門家を活用することで地域商社などの新たな担い手創出を目指す。



### 十勝岳大正泥流被災100年事業

238万円

大正泥流から100年の節目に合わせて、追悼式(5月)、三浦綾子記念文学館館長による記念講演会(9月頃)、泥流100年災害回顧誌の発行のほか、追悼関連に関わる住民活動への補助(最大10万円)を行う。

## 議員が注目した予算はこれだ！

期待どおりの成果が見込めるかしっかり検証！！

物価高騰等のあおりを受け、町民の皆様の生活は一段と厳しくなっています。今年度の予算が、町民の皆様の生活に寄り添い、活力ある町づくりにつながる予算となっているのか、議員各位が、慎重に審議し、総額145億円余りの議決に至りました。皆様にとって、令和8年度が明るく活気に満ちた年になることを心から祈念します。

議長  
中澤  
良隆



泥流災害から100年。先人の労苦に思いを馳せつつ、町に新たな活力を生み出し、町民の郷土愛が高まる事業展開を期待する。

- ①地域活性化担い手創成事業
- ②十勝岳大正泥流被災100年事業
- ③ラベンダーフェスタ

佐藤大輔議員



ラベンダーフェスタや新たな町民向けイベントの開催については、関係団体と十分な協議を行い、町内外からのお客様の満足度などに努めていただき、スピード感をもって事業の推進をお願いしたい。

- ①地域活性化担い手創成事業
- ②全国高校生朗読甲子園事業
- ③観光諸行事事業(ラベフェスタ花火)

荒生博一議員



 <p>湯川 干悦子議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域活性化担い手創成事業</li> <li>②ジオパーク推進事業</li> <li>③観光諸行事事業</li> </ul>	<p>令和8年度予算において、上富良野町を活性化すべく、地域活性化担い手になる方の発掘を実施し、ジオパーク事業と観光諸行事を絡め、町民が喜んでもらえることを期待する。</p>
 <p>米澤 義英議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保育給食費助成事業</li> <li>②小中学校給食費軽減</li> <li>③地域活性化担い手創成事業</li> </ul>	<p>物価高騰による子育て世帯の支援策として、令和8年4月から始まる教育・保育、小中学校の給食費の無償化は、保護者負担の軽減にもつながる事業。また、町の地域振興事業を進めるために、外部人材に依存するより町の人材育成が重要。</p>
 <p>金子 益三議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域活性化担い手創成事業</li> <li>②給食費無償化</li> <li>③町立病院</li> </ul>	<p>町の観光振興にしっかりと寄与できる人材発掘のために成果を出してほしい。児童生徒の健やかな成長を願う。病院の経営安定に向けた医師の確保に取り組んでほしい。</p>
 <p>林 敬永議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新規町民イベント</li> <li>②地域活性化担い手創成事業</li> <li>③ごみ焼却炉の廃止</li> </ul>	<p>永年続いたラベンダーフェスタのステージイベントが廃止される。上富良野町が「ラベンダー発祥の地」である歴史が断絶される。町民はこんなことを望んでいるのか。</p>
 <p>茶谷 朋弘議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①移住定住に関わる事業全般</li> <li>②部活動地域展開事業</li> <li>③給食センター</li> </ul>	<p>人口減少が進む中、地域おこし協力隊の活用や、自衛隊や教職員を含めた町外から通勤している方が上富良野に住みたくなるような移住・定住に繋がる施策の充実が今まで以上に重要ではないか…</p>
 <p>中瀬 実議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①簡易舗装等整備</li> <li>②地域活性化担い手創成事業</li> <li>③有害鳥獣対策費</li> </ul>	<p>町道の簡易舗装改良の早期実現を望む。課題解決に向けて効果を期待する。 箱わなの増設、監視カメラ導入により効果を期待。</p>
 <p>井村 悦文議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域活性化担い手創成事業</li> <li>②新規町民イベント</li> <li>③町立病院</li> </ul>	<p>地域再生マネージャー制度を活用し、活力と魅力ある上富良野づくりに寄与することを期待する。</p>
 <p>北條 隆男議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新規町民イベント</li> <li>②地域活性化担い手創成事業</li> <li>③町立病院の経営改善推進計画</li> </ul>	<p>町民イベント開催とあるが、イベント費の花火は具体的ではあるが、ステージ等とはどのようなものなのか。町民の皆さんがたくさん集まり、楽しんでもらえるようなイベントを行ってほしい。</p>
 <p>小林 啓太議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子育て支援に係る事業</li> <li>②ふるさと納税に係る事業</li> <li>③農業の担い手育成に係る事業</li> </ul>	<p>保育施設や学校の給食費無償化など、経済的な支援が進む一方で、子育てに関わる日常の困りごとを解消するためのきめ細やかな運用がされているかも注視していきたい。</p>
 <p>岡本 康裕議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新規町民イベント</li> <li>②有害鳥獣対策</li> <li>③十勝岳大正泥流被災 100 年事業</li> </ul>	<p>今、クマ出没が頻繁になっている。町はどう対応するのか見守りたい。</p>

みんなのお金はどう使われる？

## 令和8年度予算の使い道を質問！

### 移住・定住



#### 地域活性化担い手創成事業

Q. この事業の目的は？

A. 町の観光振興などにおける課題を解決し、地域経済の活性化を担う新たな担い手の創出を目的としており、それに向けてFAMツアー（旅行会社がメディアを招待して町の魅力を広めてもらう）や特産品などを活用したマルシェの開催を予定している。



#### Uターン補助

Q. 昨年の実績は？

A. 1件この制度を活用した移住者がいる。

Q. より効果的に活用するためには？

A. 広く広報していくとともに、対象となる事業者の増加に努めたい。

Q. 今後も続けていくのか？

A. これに代わる効果的な移住施策を検討しながら判断していく。

### 泥流地帯

#### 泥流地帯映画化



Q. 計画がR9年までとなっているが、R9年に出来上がるということか？

A. 監督の強い希望もあり、R8年製作開始、R9年完成という予定で進めている。

Q. 映画化に向けたふるさと納税寄付額が現在8,000万円を超えたが手応えは？

A. 良いペースで集まっている。また、大きい額の寄附を企業から打診をいただいております、順調と認識している。

### 泥流地帯

#### 全国高校生朗読甲子園



Q. 昨年好評だったが、今年の見込み人数は？（昨年は10数名）

A. 手応えを感じており、今年は30名程度を見込んでいる。

Q. 泥流地帯映画化を進める会の主催となっているが、映画化完成後も続けていくのか。

A. 映画が完成し、進める会が役目を終え解散しても、新たな実行委員会をつくり、続けていきたい。

### 防災



Q. 災害時の避難所におけるアレルギーを持つ町民に対する対応は？

A. 避難所運営マニュアルの中で対応の仕方を明確にしている。

Q. 名簿だけでは不十分ではないか？

A. リストバンドやピブスなどの使用を含めて検討していく。

### 部活動の地域移行



Q. 地域移行に向けて地域おこし協力隊の活用を予定しているのか？

A. 現在募集中。5月から従事予定。

Q. 協力隊員以外に職員のサポートやさらなる人材配置が必要ではないか。

A. 一人に丸投げせず職員も勉強しながら、協力して進めていきたい。

## 観光

### 十勝岳ジオパーク

- Q. 再認定を受け、今年度のジオパーク推進の取り組みは？
- A. 再認定のための現地認定の際に、観光・教育・防災の従事者と連携を図ることができる組織づくりをしていくよう指摘されたことを踏まえ、美瑛町と協議し組織体制を見直していく。

### 観光諸行事事業（新規町民イベント）

- Q. ラベンダーフェスタ最終日に行っていた出店や、ステージイベントは別日になるのか？
- A. 夏の猛暑や駐車場の混雑、花火大会を希望する町民が多いことから、新たな町民向けの夏のイベントを計画している。
- Q. 8月に予定しているというがイベント開催までのスケジュールは？
- A. 4月に実行委員会を開き開催場所、日程、イベント内容を協議していく。

## 町立病院

- Q. 病院経営改善のために国から2億2,000万円の借入れを行うとあるが町のお金で補填しない理由は？
- A. 総務省から町の一般財源に頼ることなく健全化に向けて国からの借入れを利用しながら自助努力するように指導されているため。
- Q. 現在医師が不足している状況だが新たな経営改善計画は医師が充足した体制での計画か？
- A. 現在は不足している部分を出張医で補っている。医師3人体制で改善していく予定である。

## 討論

反対

米澤 議員

物価高騰により町民の暮らしは厳しく、暖房費をはじめ生活費全体の節約を強いられており、町民の生活支援を最優先に取り組むべき。給食費無償化や有害鳥獣対策の拡充、観光施策は評価しますが、映画化事業の完成時期が不明確であり、効果にも疑問がある。また、地域活性化のために外部の力を借りることよりも地域の声を聞き、持続可能なまちづくりのために優先すべきことを明確にし、商工業者や農業者、子育て世帯や高齢者等への支援を充実させるべきであり、本予算に反対する。

賛成

金子 議員

歳入は依存財源が多く財政の硬直化が見られ、基金の取り崩しによる編成となっているが、減債基金の積立など将来を見据えた対応は評価している。

歳出では、防災や観光振興、地域活性化、人材確保に加え、給食費無償化や医療・子育て支援など町民生活に直結する施策が着実に進められている。今後も物価高騰等に柔軟に対応されることを期待し、本予算に賛成する。

### 提出した意見書

一般会計

- 1 地域活性化担い手創成事業について、観光振興等が町内経済の活性化へと確実に結びつくよう、事業を進められたい。
- 2 観光諸行事負担について、町民及び町外からの来訪者双方の満足度向上に努められたい。

### 病院事業会計

- 1 町立病院においては、今後策定される経営改善推進計画に基づき経営改善に努められ、引き続き、医師の確保に最大限の努力をされたい。



全文はこちらから

# 定例会

## 条例の新規制定

### 上富良野町予約型乗合タクシー運行条例

町内のタクシー業者1社の廃業に伴い、業務委託により行われていた予約型乗合タクシーの運行が難しくなったことから、町の直営で実施する。



### 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

## 財産の取得

- ・かみんデイサービスセンター特殊浴場整備
- ・武道館畳取り替え

# 臨時会

## 補正 予算 (主なもの)

### 第1回 (1月13日)

#### 物価高騰対応に伴う町民の生活支援に3事業

- ・低所得者世帯給付金事業 **1,900** 万円 (1世帯当たり1万円給付)
- ・児童・社会福祉施設等支援事業 **900** 万円 (高齢者福祉施設等に対する支援)
- ・物価高対応子育て応援手当 **2,783** 万円 (子ども1人当たり2万円)

### 第2回 (2月3日)

#### 物価高騰対応に伴う町民の生活支援に3事業

- ・生活応援商品券交付事業 **1億150** 万円  
(町民1人当たり1万円の商品券給付)
- ・収益向上作物生産振興事業 **1,300** 万円  
(メロン栽培ハウスの遮光ネット導入補助)
- ・住宅新築費助成事業 **2,000** 万円  
(町内に建設される住宅の新築に要する費用の一部補助)



## 議会 Pickup

町議会では、第1回臨時会が1月13日、第2回臨時会が2月3日、第1回定例会が3月3日から17日、予算特別委員会が3月10日から13日までの会期で開かれました。定例会では、10名の議員が一般質問を行い、令和8年度予算及び基金の一部支消については、予算特別委員会に付託され審議となりました。定例会最終日に、一般会計予算及び特別会計予算、企業会計予算が可決されました。その他、補正予算及び条例の制定等を審議し、原案のとおり可決されました。

### 富良野広域連合議会

#### 第1回定例会

令和8年第1回富良野広域連合議会定例会が2月9日に開催され、連合長から行政執行方針が述べられたほか、補正予算案及び新年度予算案、条例案が原案のとおり可決されました。

また、金子議員より次のとおり一般質問が行われました。

「公共串内牧場における小型ピロプラズマ症へのこれまでの対応と、これからの対策について」

①令和7年度に発症確認事例が続発したがゾーニングに問題は無かったか。②ダニ駆逐プログラムの実施効果から全頭検査が必要と考えるが。③完治が望めない現状における感染した牛への補償は。④疾患原因であるマダニ類を運ぶエゾシカ対策は。⑤令和8年度はどのような対策を持って放牧牛を受入れていくのか。⑥哺育育成センターの子牛受入れ等の影響は。

# 特集

## 令和8年度から議員報酬が増額！

12月24日に提出された上富良野町特別職報酬審議会の審議結果を受け、1月13日に行われた臨時会において、8年ぶりに議員報酬が改定されることが決まりました。これにより、最大で議会議員の報酬が17.32%増額されることとなりました。

### ■改定までの経緯

町長、副町長及び教育長並びに議員の報酬に関しては概ね2年を目途に定期的な検証を行う必要があるとされていたことから、令和7年11月21日に町長から審議会に対して検討を求めました。その後、審議会では全3回の会議を経て、報酬を増額するべきと答申書が出されました。これを受け、議会に対し報酬改定の一部条例改正が上程され、賛成多数で可決しました。

### ■改定内容（報酬月額）

区分	改定後	改定前	増額	改定率
町長	760,000円	750,000円	+10,000円	1.33%
副町長	622,000円	612,000円	+10,000円	1.63%
教育長	586,000円	576,000円	+10,000円	1.74%
議長	295,000円	275,000円	+20,000円	7.27%
副議長	230,000円	209,000円	+21,000円	10.05%
常任委員長	220,000円	191,000円	+29,000円	15.18%
議員	210,000円	179,000円	+31,000円	17.32%

※年収は期末手当（約4.6ヶ月分）を加えた額になります。

### ■主な答申内容

町長、副町長及び教育長においては、常勤職であることから、物価高騰下での生活基盤の維持を考慮し職務専念の環境を整備する必要があり、特別職の給料月額を上げることが適当と判断した。

議会が行政の監視機能に加え、多様な住民の声を政策に反映させる役割を果たすためには、議員の通年の活動を経済的に支え、多様な人材の確保・参画、改選期には議員定数を2名削減することもあり、議員の報酬月額を上げることが適当と判断した。

町長、副町長及び教育長並びに議員各位においては、報酬等が町民の貴重な納税が基本にあることを再認識され、今後の持続可能なまちづくりと町民福祉の向上に、なお一層ご尽力されることを心より願うものである。



#### 上富良野町特別職報酬審議会とは…

町内の農業・経済団体、住民会などから選出された計10名で構成され、特別職と議会議員の報酬に関して、概ね2年に一度審議を行う会で、議会とは別組織。

新年度より議員報酬が増額されることが決まりました。また先に行われた議会では次回選挙から議員定数が2名削減されることも既に決まっております。今回の報酬改定により、議会によるより活発な議論やさらなる議員活動が期待されるほか、次回選挙において多様な人材が立候補されることが期待されます。

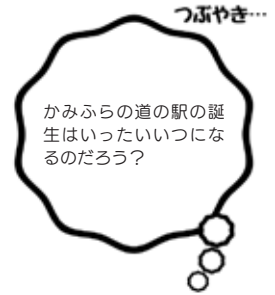
民生児  
童委員

民生委員・児童委員の活動費は

町長 - 活動内容を勘案し、検討していく

齊藤町長 担当地区において日頃から生活、介護、医療、子育てなどの相談に応じ、支援が必要な方はサポートが受けられるよう専門機関とつなぎ、高齢者や障害者の安否確認や見守りをはじめ、町

湯川議員 民生委員・児童委員は、地域住民の身近な相談相手として重要な存在だ。様々な相談や日常的な支援、訪問や連絡活動、実態調査、地域福祉活動への関りなど、多岐にわたる活動にあた



厚生労働大臣から委嘱される、民生児童委員のバッジ

から依頼している高齢者実態調査の実施など、多岐にわたる地域福祉活動を担って頂いている。

湯川議員 活動費は委員月額1万円となっているが、他町村の状況はどうか。



湯川 千悦子 議員



道の駅構想について

湯川議員 町長は2期目に入り、自身の町政報告会にて道の駅構想についての公約を話されていた。

齊藤町長 将来世代に過度な負担を残さぬよう、

手配していくのか。

ひとくちメモ

道の駅のキラーコンテンツとは…顧客を強く惹きつけ、集客や売り上げ向上に大きく貢献する目玉となる要素のこと。道の駅を訪れる目的自体になるような、体験や交流、特産品を活かした独自の商品などが該当します。

齊藤町長 町民各位はもとより、関係機関や関係団体との協力も不可欠と考えている。町民の意向が把握できる段階までスムーズに移行できるように準備を進めていく。

湯川議員

齊藤町長 十勝岳をはじめとした風光明媚な自然

湯川議員 町長が考える我が町のキラーコンテンツは何を考えているのか。

湯川議員 道の駅の基本構想を策定する段階で、予算などの規模はどの程度を考えているのか。またその財源はどのように

駐屯地

# 陸上自衛隊上富良野駐屯地のさらなる拡充を

## 町長 - いつでも万全の体制で受け入れる

**金子議員**

今後、宇宙・

サイバー・電磁波といった新領域に關した分野への安全保障に關した部隊の誘致などを行う考えはないか。

**斉藤町長**

新領域の部隊

配備は、南西諸島や主要駐屯地に集中しているが、本町の最大の強みは、国内有数の訓練基盤である広大な上富良野演習場を有している。様々な装備品による訓練に対応してきた上富良野演習場を核として、訓練誘致を含めた部隊配備の要望を推進したいと思う。

**金子議員**

駐屯地、弾薬

支処、演習場の三つを包括的に拡充するための方策は。

**斉藤町長**

防衛省におい

つぶやき...

全国に160余ある駐屯地の中でも日本一の部隊と地域の関係で「地域社会との共存共栄」「大同団結・和」でこれからも共に繁栄して行きましょう。



金子 益三 議員



日本一地域と良い関係の駐屯地

て、防衛力の抜本的強化に伴い、施設の強靱化や老朽化対策を加速させている。これらの施設拡充を点ではなく面として捉え、自衛隊施設の強化が地域の防災力向上や周辺整備（道路・橋梁・避難施設や防災拠点）にも資するよう、一体的な機能強化を求めていく。

**金子議員**

駐屯地に通勤

している隊員諸官が、今後、町内に在住していただけの方策は。

**斉藤町長**

新部隊配備予

定を絶好の機会と捉え、隊員の皆様が上富良野を生活の拠点として選んでいただける環境を整える。今後とも自衛隊との共生を揺るぎない方針とし、駐屯地の規模拡充を、人口減少を食い止めるための強力な原動力としていく決意でいる。

学校給食センターの今後は

**金子議員**

建設40年を超

え躯体の老朽化が進み、調理員の健康管理上エアコン設置など早急な対策が必要と考え、建て替えるも考慮した建築改良などの計画は。

**鈴木教育長**

現時点では

建て替えや大規模改修に關する計画はないことから、施設・設備の劣化に対し、適宜修繕や機器の交換を行い、安全な調理体制の維持管理に努めている。

**金子議員**

今後の調理員

確保に対する取組は。

**鈴木教育長**

ワーク・ラ

イフ・バランスの両立と適正な処遇の優位性について、多様な媒体を通じて、積極的な広報を行い、意欲のある人材の確保に努める。

**金子議員**

学校給食のア

ウトソーシングは。

**鈴木教育長**

今年度設置

した学校給食の在り方検討委員会において、将来的な運営方法等についても慎重な検討を進めていきたい。検討委員会の答申を踏まえた上で、人材確保という観点からも、全面アウトソーシングなのか、人材的にアウトソーシングなのか、そういう部分もいろいろあると情報を今得ているので、教育委員会の中でも精査して、学校給食あり方検討委員会の中でも協議してもらえよう、準備を整えていきたい。

ひとくちメモ

「新領域防衛」とは…宇宙、サイバー、電磁波といった従来の陸・海・空以外の新たな領域における防衛を指します。これらの領域は、現代社会や軍事活動にとって不可欠であり、その防衛が急務とされています。

## 明確な方向性を示して欲しいが

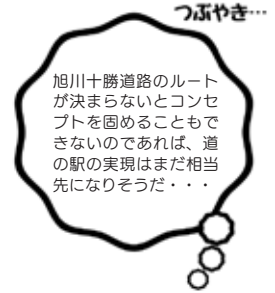
### 町長 - まずはコンセプトを固めることが優先

#### 道の駅

**齊藤町長** 設置場所についてだが、「市街地近郊」と「郊外の幹線道路沿い」では、道の駅に求められる役割は異なる。性格の異なる複数の計画を

**佐藤議員** 町長は就任当初より道の駅設置を公約として掲げてきた。「旭川十勝道路のルートが見えてきた段階で、設置場所の検討に入る」との考えを示してはいるが、道の駅の具体像や候補地、オープン時期について明確な方向性が示されていないと言えない。

旭川十勝道路のルート確定を待たずとも、インターチェンジの設置候補地を複数想定したうえで検討を進めることはできないのか。



佐藤 大輔 議員



令和7年度に2回実施された町民向けの道の駅見学

策定することは財政的な無駄を生む懸念があるため、まずは不可欠な機能は何かというコンセプトを固める事を優先したい。

**佐藤議員** 道の駅設置を巡っては、財政面を懸念する声も少なからず聞か

れる。どのような資金計画や営業収支を想定しているのか。

**齊藤町長** 営業収支については、行政が赤字を補填し続けるような運営は想定していない。利益を生み出せると確信が持て

ない限り、着手すべきではないと考えている。

**佐藤議員** 収支に慎重な姿勢は、心配する町民に安心感を与えるものと思うが、利益を生み出すことは簡単ではない。町長自ら道の駅設置のハードルを上げ、結果として着手が難しくなるのでは。

**齊藤町長** ハードルを上げたつもりはなく、決して無理だとも思っていない。「ハコモノ行政」との批判を受けることのないよう、運営方法についてもしっかりと考慮していく。

**齊藤議員** 道の駅の設置には、通常5〜6年かかると思われる。基本計画への移行は何年後を目指しているのか。

**佐藤議員** 令和7年度には、町民の機運醸成を図るため道の駅視察を実施した。しかし本来、機運とは「何を指すのか」

**齊藤町長** 現時点で明言するのは難しいが、公約に掲げている以上、町民と共に創り上げていきたいという気持ちに変わりはない。



旭川十勝道路とは：旭川市から富良野市を経由し占冠村へ至る、総延長約120kmの地域高規格道路です。上富良野町を通る区間は現在「計画段階評価」の段階にあり、具体的なルートはまだ決まっていません。

危機管理

クマ対策、行政としての危機感は

町長 - 町郊外での人的事故がないよう対応

林議員 全国でクマの生

態に明らかに変化が起きて  
いる。本町においても  
クマの目撃情報は、住民  
の「生存権」と「平穏な  
生活」が脅かされる事態  
であると考ええる。本町に  
おけるヒグマ出没及び捕  
獲件数、農作物への被害  
など現状、また、クマ用  
の箱わなの購入だけでは  
なく、他の対策を講じる  
考えがあるのか。

斉藤町長 昨年は本町に

おいても山林など人目  
につかない場所から人里へ  
の出没が増え、目撃情報  
も増加傾向にあり、市街  
地への出没に不安感を抱  
いている。令和7年度は、  
現在まで目撃24件、捕獲  
18頭となっておりJ.Aの  
調査では、農作物の被害

つぶやき...

クマ対策、人身事故  
が起きないように  
町民は望んでい  
る。新年度の北海  
道庁のクマ対策  
予算を見習って  
ほしい。



クマ用の箱わな

状況が、牧草10ha、甜  
菜10ha、馬鈴薯30ha、  
水稻190haとなっている。  
箱わな以外の対策につ  
いては、昨年クラウドシ  
テムの監視カメラを導入  
し試行した。現地に行か  
なくてもアプリケーショ  
ンから状況を確認でき  
ることから、関係者の  
作業軽減が図られる  
こととなる。



林 敬永 議員

避難所におけるアレルギー対策について

林議員 災害時における

避難所での「食の安全」、  
とりわけ食物アレルギー  
疾患を持つ避難者への対  
応について、避難所開設  
時、受付においてアレル  
ギーの有無を確実に把握  
し、特に、緊急時でも見  
落とさないよう、アレル  
ギー患者を識別するビ  
ブスやマークの活用、あ  
るいは専用の名簿管理を  
標準化すべきと考える。  
また、物流が途絶えた際  
の「個別配送」や専用の  
備蓄棚の設置など、必要  
な人に確実に届く仕組み  
が整っているのか。

斉藤町長 本町の「避難

所運営マニュアル」では、  
受付を担当する「名簿

班」が避難者の状況を把  
握し、健康管理を担当「救  
護班」と緊密に連携する  
ことを定めている。今後

は、この運用をさらに徹  
底し、受付時にアレル  
ギーの有無を確認するこ  
とを標準的な受付フロー  
とし、混乱した現場でも  
配慮が伝わる体制構築を  
目指す。また、避難所内  
における「アレルギー専  
用保管・配布棚」の設置  
を検討し、一般食との混  
在を厳格に防ぐ運用を徹  
底する。

ひとくちメモ

食物アレルギーは、本来は体に害のない食  
べ物に対して免疫系が過剰に反応してしま  
う状態。その危険性は単なる「じんましん」  
にとどまらず、命に関わる。最も警戒すべ  
きこと。



アレルギー関連の情報

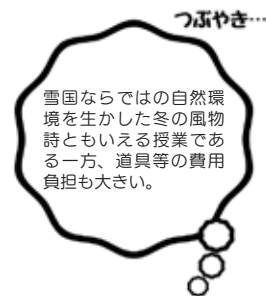
日の出  
公園

# スキー授業とリフトを活用した観光振興は

## 町長 - 現行の方式を当面維持していく

**鈴木教育長** PTAの役員にも御協力をいただいでそのようなニーズがあれば御支援いただきたいなど感じている。また現在、経済的支援が必要な世帯に対して就学援助費としてスキー用具の購入費用を支給しており、小

**井村議員** スキー授業は、冬の学期に3回ほど実施され、地域に根差した文化として継承される重要な教育プログラムとなっており、地元のスキー場の利用促進にもつながっている。その一方、保護者含め道具等、費用負担の大きさを指摘した声もある。買い替えで不要になった用具の情報交換の場などを設けていただけないか。



日の出スキー場

中学校の9年間で計3回支給し、成長に合わせた買換えにも対応している。生活保護世帯についても、生活保護費の中で必要な扶助が行われている。

**井村議員** 日の出スキー場のリフトは、滑走式リフト（Tバーリフト）で、昭和60年12月設置から既に41年が経過している。近隣自治体では、スキー場のリフトを観光施策に活用し、好評を得ている事例があることから、上富良野町もラベンダー



井村 悦丈 議員

その有用性を認識しているところではあり、幾度か課題として検討してきた経過もあるが、今後とも、施設の安全性を最優先に確保しつつ、町財政への影響や維持管理コストを精査し、当面の間、

フェスタ、ライトアップイベントに合わせ、夏の営業も鑑み、チェアリフトを設置してはいかがか。

**斉藤町長** 日の出スキー場の滑走式リフトは、昭和60年の設置から41年が経過し、老朽化への対応が課題であることは認識している。

ラベンダー観光時期の魅力増進と観光客へのホスピタリティーの面では、チェアリフトを含む登坂手段の確保については、

現状の形態で維持管理を進めるよう取り組んでいきたいと考えている。

**井村議員** キャンプ場もあり、日の出は小さくて低い山なので、サマーグレンデみたいな体験型のインバウンドも含めて滑れるようなグレンデを作っては。

**斉藤町長** 観光面での費用対効果の観点から導入は難しいものと考えている。

現行の方式を当面維持していく。

ひとくちメモ

スキー授業は明治44年1月、日本で初めてのスキー指導が上越市で行われ、指導者は、当時のオーストリア・ハンガリー帝国の軍人で少佐のレルヒ。その指導を受けたのは、大日本帝国陸軍、第13師団歩兵第58連隊の将校たちでした。

道路維持

令和7年の路面調査の結果は

町長 - 今回修繕が必要な区間は 5.4km

中瀬議員

今回の調査路

線は全て1級路線なのか。オーバーレイで改修する路線は何路線あるのか。

斉藤町長

今回の調査路

線の種別については12路線で行い、このうち1級路線が6路線5.4km、2級路線2.3km、その他が2路線0.8kmとなっており、調査結果については、ひび割れ、わだち掘れ、平坦性の調査を行い、損傷レベルが大きく修繕が必要とされた区間は5.4kmと確認された。

本年度路面調査と合わせ、現地に於て路盤厚を確認した結果、現在の規格に合わない路線もあり、オーバーレイ舗装路線は

10路線、改良舗装を主とした路線は2路線、5路

つぶやき...

町内の町道舗装の損傷が目立つ。経年劣化による劣化、凍害等によりわだち掘れが多く見られる。



中瀬 実 議員

線1.4kmを計画している。

中瀬議員

路面調査の方

法について路面調査の項目は何点、どのような調査をされたのか。

菊地建設水道課長

調査

の内容は、ポイントは3点ほどある。1点目がひ

び割れ、横フラック等に

関して、上からレーザー

光線、赤外線を当てて調べ。2点目走行でできるわだち掘れ、その減り

具合、平坦性、道路に波

打っているか、平坦性調査を行った。



損傷がみられる町道舗装

特定空き家は何件あるのか

中瀬議員

上富良野町で

空き家は何件くらいあるのか。そのうち特定空き家は何件、不良住宅は何件あるのか。

斉藤町長

空き家件数に

ついて、実態調査や住民の方からの通報に基づき総数で105件を把握しており、特定空き家及び不良住宅について、現在いずれも0件となっております、特定空き家は私有財産への配慮から、対話による自主的な改善を促しており、不良住宅については、空き家再生等推進事業の補助申請を起点として、国の基準に基づき個別判断を行うものであり、現時点で申請認定の実績はない。

ない。

中瀬議員

解体費用助成

は、住宅リフォーム解体助成の工事費50%上限100万円、工事費の20%50万円しかないのか。

斉藤町長

解体費助成に

ついて、本町の解体費助成は、住宅改修等補助事業において、不良住宅に対する工事の50%、上限100万円と工事費の20%、上限50%となっております、この助成額は国の空き家再生等推進事業を財源とした間接補助の仕組みを活用しており、国が示す支援の枠組みの中で適切に運用しており、現在のところ、本事業等による認定実績はないが、現行制度を空き家所有者へ周知、理解を深めていただくことが重要。

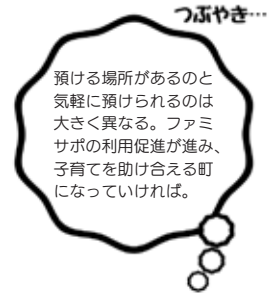
ひとくちメモ

特定空き家とは…空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、倒壊の危険性、衛生上の有害性、景観の著しい阻害など、放置することが不適切と自治体が認定した空き家。

子育て

# ファミサポの利用拡大を進めるべきでは

町長 – 必要に応じて進めていきたい



**小林議員** 本町の出生数は2014年の約78人から2024年には約49人へと、この10年間で約37%減少している。この急激な減少について、町長の認識を伺う。

**斉藤町長** 全国的な傾向であり、本町特有の現象ではない。

**小林議員** では自治体として対応可能な領域はないのか。

**斉藤町長** 子育て支援などにおいては自治体としてできる範囲でニーズを把握し、施策を進めていく必要がある。

**小林議員** 子育て世帯が不安に感じることとしては、日常的な子ども預かりや送迎など、小さな困りごとではないかと考



小林 啓太 議員



えている。その点には十分に寄り添えているか。

**斉藤町長** 預けに関して、サポートできている部分もあるが、今後より良い方法を検討していきたい。

**小林議員** 当町で子育て



こどもサポートふらの主催のクリスマスパーティー

世帯を対象にとられたアンケートによると、単身世帯や身近に両親の存在がある家庭においても子どもを預けることには心理的なハードルがあることが分かるが。

**斉藤町長** 個人の感情に

踏み込むのは難しい面もあるが、預け先がない家庭も含め、どういった解決策があるのか調査研究していかなければならない。

**小林議員** アンケートの記述欄では子どもを気軽に預けられるサービスのニーズが高く、もしその

ニーズにお応えできれば、当町における子育てのしやすい実感値は飛躍的に向上すると考えるが。

**斉藤町長** ファミリーサポートセンター事業（以下ファミサポ）を活用する

など、必ずしも公的な機関ではなくてもいいので、どういった施策がいいのか皆さんと検討していきたい。

**小林議員** 現状まだファ

ファミリーサポートセンター…子育てを手伝ってほしい人（利用会員）と手伝ってくれる人（サポート会員）を繋ぐ仕組み。上富良野ではこどもサポートふらという法人に事業を委託している。



ミサポを知らない方や知っていても使ったことのない方も多い。中富良野町では妊娠前からファミサポのスタッフとの交流があったり、出産時に5時間分の利用チケット（3千500円相当）が配

られるなど利用が促進されており、初回利用へのハードルが低い実態がある。当町でもおよそ20万円以下の予算でできる事業なので、出産時にファミサポの利用チケットを配るべきだと考えるが。

**斉藤町長** 初回利用のハードルを越えるという意味では利用券の配布は良い手段だと思う。隣の動向を研究しながら参考にさせてもらいたい。

地域通貨

地域通貨導入の考えはあるか

町長 - 引き続き調査、研究をしていきたい

茶谷議員 紙媒体による課題はどのように認識しているか。

斉藤町長 商品券の制作、配布、換金に多くの時間と費用がかかる。また、消費者がいつ、どこで、何に使用したかを追跡することができないため、経済波及効果の測定という面では大きな課題がある。

茶谷議員 地域通貨について、町はどのような認識をしているか。

斉藤町長 地域経済の循環、住民利便性の向上とその有効性について大いに認めているが、導入には相当のコストを必要とすることや、住民が地域通貨を使用するサイクルの確立に至らない等問題

茶谷議員 将来的に地域通貨を地域経済の基盤として整備する考えはあるか。

斉藤町長 地域内通貨基盤の構築は大きな課題が山積しているものと考えている。しかし、近年大

があり、より慎重な検討が必要。



美瑛町で導入されている地域通貨

トレーニング環境の整備及び指導体制の強化

茶谷議員 幅広い世代が継続的に利用できるよう、機能向上や設備更新を含め、トレーニング環境の整備を検討する考えは。

鈴木教育長 現在設置している機器は導入から10年以上が経過しており、利用実態や利用者が求めるトレーニング環境の把握と分析を行い、機器の更新を検討していきたい。

茶谷議員 町民の運動習慣の定着を図るため、新たに運動指導を行う専門の人材配置を検討する考えはないか。

充実が不可欠である。専門的な指導は、施設の安全性や利用者のモチベーション維持にもつながり、結果として施設の利用促進に寄与するものと考えている。

第10次社会教育中期計画で、インストラクターなどの専門人材配置の必要性について謳われており、町民が生き生きとスポーツに励み、健康で活力ある生活を送れるよう、運動環境の充実に向けて検討したい。

鈴木教育長 運動習慣の定着には、ハード面だけでなく、正しく効果的な運動を教えるソフト面の

つぶやき... デジタル地域通貨を導入するには、課題は多くあるが紙媒体の商品券では今以上の経済効果の発展は難しいのではないかと...



茶谷 朋弘 議員

ひとくちメモ

プレミアム商品券の経費に約450万円、今回の生活応援商品券給付の経費には600万円がかかっている。近年、コストの削減や利便性向上などの利点から地域通貨を導入する自治体が増えている。

観光  
振興

# 花火大会を今年こそ実施するのか

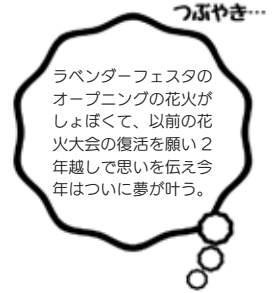
## 町長 - 令和8年度に夏の開催を目指している

ラベンダーフェスタがみふらのにおける駐車場やイベントの有料化についてであるが、昼間のイベントを除く夜間のライトアップに限ると1日平均3千500人

**荒生議員** 昨年9月の定例会で私は、持続可能な観光振興に必要な財源確保のため、今や当町の最大集客イベントであるラベンダーフェスタがみふらのの駐車場の有料化やイベントそのものの有料化を提案したが、その後検討はされているのか。

当町の魅力ある観光資源の磨き上げと、今後の持続可能な観光振興策の展開には、自主財源確保が喫緊の課題であると考えますが町長の見解を伺う。

**斉藤町長** ラベンダー



過去にあげられた花火

の入り込みとなっており、年々増加傾向にあるものの現在も発展途上にあると考えている。当面はSNSやメディアでの露出による知名度向上、イメージアップを優先し、入場の有料化はまた次の

段階で検討を進めていきたいと考えている。一方、駐車場については、夜の極めて短い時間のイベントである特殊性を鑑みると、一般的に行われる出入口での料金徴収は、入退場時の混雑緩和の観



荒生 博一 議員

ただけるのか伺う。

**斉藤町長** 花火大会の開催については残念ながら実施には至らなかったが、今年こそ実施したい

民花火大会は夏の風物詩として多くの町民の皆様

**荒生議員** 町民皆が望んでいる花火大会実施について、昨年度は残念ながら実施には至らなかったが、今年こそ実施したい。

点から非常に困難であるものと考えている。このことから、令和8年度においては、運用面で実現可能かつ効率性のよい料金徴収方法を検討、試行する予定である。これにより、来場者に過度な負担をかけず、また、入退場や地域交通に支障をきたさないような手法による有効な財源調達を模索してまいりたい。



北海道は本年4月より北海道宿泊税を導入し、観光の付加価値向上、受入れ体制の整備、災害など観光分野の危機管理対策など、持続可能な観光振興を図るための財源として活用することとした。

に愛され、待ち望まれていられる一方で、前身である花と炎の四季彩まつりまで行っていた同日開催が入込みの増加と交通渋滞の問題を受け、実施を見送ってきたところである。問題の解消については様々な方策を検討してきたところだが、担い手の確保や運営体制の整備も含め、ラベンダーフェスタに合わせた開催は難しいものと判断しているところである。このことから、花火大会については、ライトアップイベントとは切り離し、新たな町民イベントとして実施方法を検討し、令和8年度に夏の開催を目指しているところである。

環境  
衛生

# クリーンセンター処理体制の住民説明を

## 町長 - しかるべき時期に住民周知や説明会等を実施する

**米澤議員**

一般廃棄物を

処理するクリーンセンターが共用開始から約25年が経過している。この間、改修等しながら施設の維持管理をしている。町は、今後の一般廃棄物の処理体制を考えれば、焼却施設の新設より安価になるとして、他の自治体で構成する清掃組合への加入を検討しているが、議会や住民にしっかりと説明することが必要では。

**齊藤町長**

機械設備類の

耐用年数を迎えた平成27年度にクリーンセンター長寿命計画を立て、施設の安定運営に努めてきたが、老朽化が進行する中では緊急対応が必要な故障も偶発している状況にある。このようなことから、費用対効果の比較検討においては、令和8年度から15年間の廃棄物ラフサイクルコストは、大雪清掃組合の加入が最も安価となったことから、現時点で可能な処理方法の中で最も費用対効果

つぶやき...

住民は、一般廃棄物処理体制が変わることにより、ごみ処理手数料の見直しなどの不安がある。住民への説明が必要。



米澤 義英 議員



A系焼却炉・ごみシュート修繕

ら、費用対効果の比較検討においては、令和8年度から15年間の廃棄物ラフサイクルコストは、大雪清掃組合の加入が最も安価となったことから、現時点で可能な処理方法の中で最も費用対効果

発揮されると判断した。住民や議会に対する説明であるが、しかるべき時期に住民周知や説明会等を実施し意見を求めたい。

### 合葬墓の新設を

**米澤議員**

近ごろでは、

お墓を守る人がいないことやお墓を建てることより費用の負担が安価であることなどの理由から、合葬墓への納骨を望む声がある。町は、火葬場が老朽化し改築するよりは費用面で安価になることから、令和8年度より中富良野町との火葬場の共同利用が始まるが、住民からの要望がある合葬墓の新設について、今後の対応について伺う。

お墓や納骨に対する考え方が多様化してきている。本町においても、墓地区画の使用許可件数は少ない件数で推進しており、墓じまいなどの改葬件数は増加してきている状況にある。今後においては、少子高齢化や核家族化、地方の人口減少の現状を踏まえ、町内に納骨する施設を抱える寺院もあることから、民間施設との整合性について意見交換を行うとともに、公共施設としての整備について研究、検討すべき事案と考えている。

**齊藤町長**

少子高齢化や

核家族の進展、継承がないなど、お墓を維持管理していくことに不安を持たれている方が増えていると言われている。

### ひとくちメモ

国や自治体が計画・政策などを策定・改定する際、事前にその案を公表し広く住民から意見を募り、結果と行政の考え方を公表することで、行政の透明性の向上と住民参加が必要です。

議会の主な予定

5月18日 ～21日	厚生文教常任委員会 先進市町村行政調査
5月28日	議会運営委員会
6月4日	厚生文教常任委員会
6月5日	総務産建常任委員会
6月8日	議会運営委員会
6月11日	全員協議会
6月17日 ～18日	議会広報特別委員会 第2回定例会

次回7月24日発行予定

今号の表紙

「ご提供ありがとうございました」

ベンチャーキッズって何?

上富良野町商工会青年部が毎年2月に主催する町内の小学生が会社経営を疑似体験する教育プログラムのイベント。

商品の企画、仕入れ、製造、販売、決算までの一連の流れを通じて、商売の仕組みや働くことの厳しさや楽しさを学ぶことを目的としたものです。

ベンチャーキッズの売り上げは町に寄付されそれぞれの小学校の備品購入などに使われます。

参加した子供達の声

Q ベンチャーキッズに参加してみようでしたか?

A 色々な経験ができて楽しかった。(森さん、北村さん)

・社会の体験ができて面白かった。(鈴木さん、松井さん)

Q ベンチャーキッズの売り上げをどのように使って欲しいと町長にお願いしましたか?

A 西小学校のチャイムを新しくして欲しい。(森さん、北村さん)

・上富良野小学校の掃除箱やカウンターを新しくしてほしい。(鈴木さん、松井さん)

Q 上富良野町がどんな町になったら嬉しいですか?

A デパートのある町。(森さん、北村さん)

・自然が多くてのどかな町。(鈴木さん、松井さん)

Q 上富良野の好きなところは何ですか?

A ラベンダーと自然。(森さん、北村さん)

・ラベンダーと自然、十勝岳。(鈴木さん、松井さん)

3月27日上富良野町役場において行われたベンチャーキッズ納税式に参加してくれた上富良野西小学校の森玲香さん、北村美森さん、上富良野小学校の鈴木結月さん、松井優月さんがインタビューに答えてくれました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

新緑がまぶしく、花々が風に揺れる季節がやってきました。新年度を迎え、新しい生活が始まった方や、生活環境が変わった方、それぞれに気持ちを新たに日々前進していることと思います。

地球温暖化により、暖かい日々が続ぎ、桜の開花を早めそうですね。今年の夏も厳しい暑さになるのでしょうか…。

本号では令和8年度の予算審議の結果や、町長・教育長の執行方針、それに対する議員一人ひとりの注目度を掲載いたしました。皆様も上富良野のまちづくりに、今以上に興味をもっていただき、よりよい町にするべく、たくさんのご意見・ご希望を、私達議員にお知らせしていただけることを願い、爽やかな風と共に皆様の日々が幸せに満ちるようにご祈念申し上げます。

次号もお楽しみにお待ちください。

(湯川 記)

議会広報特別委員会

委員長	茶谷 朋弘
副委員長	林 敬 永
委員	湯川 千悦子
	米澤 義 英
	井村 悦 丈
	小林 啓 太